

2022-23 年度ガバナーテーマは ロータリーの再生 ～ 新たな挑戦 ～

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー 志村 雄治



2022-23年度のガバナー就任にあたり、第2590地区の会員の皆様にご挨拶申し上げます。

私は、2020年にガバナーノミネーとして正式に承認され、2021年の地区大会の全体会の中で、夫婦で会員の皆様にご挨拶することが出来ました。しかし、その後は新型コロナウイルス・オミクロン株の流行のため、様々な予定が変更されました。ガバナー就任要件（出席義務）である国際協議会も2022年1月にアメリカ・フロリダ州オーランドで開催予定でしたが、昨年度と同様にオンライン協議会となり、かなり内容の濃い研修・協議でしたが、2月4～15日にZOOMで行われました。また、例年ですと現地でRI会長と握手している写真を今月号のガバナー月信に掲載させて頂くところですが、ZOOMのため残念ながらそれがありませんでした。

国際協議会の初日の本会議において、国際ロータリー117年の歴史の中で初めての女性会長、ジェニファー・ジョーンズRI会長エレクト（当時）が2022-23年度の会長テーマを発表しました。2022-23年度RIテーマは、『イマジン・ロータリー』です。ジェニファーさんはその趣旨を次のように説明されました。「50年前、次のような美しい歌詞を含む曲がレコーディングされました。『君は僕を夢想家だと言うかもしれない。でも僕一人ではないさ!』この歌詞は、行動への呼びかけだと私はとらえます。私たちには皆『夢』があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです。ロータリーのような団体が、ポリオの根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くなら、それを実現させる責任は、自分たちにあります。

想像してください。私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚める時、その世界に変化をもたらせることを知っています。昨日のことをイ

マジン（想像）する人はいません。それは、未来を描くことです。

- ・ポリオのない世界を想像してください。
- ・みんなが安全な水を使える世界を想像してください。
- ・疾病のない世界、すべての子どもが読むことのできる世界を想像してください。
- ・やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。だからこそ『イマジン・ロータリー』が今年度のテーマになります。」と発表されました。

それを受けて当地区2022-23年度のガバナーテーマは、「ロータリーの再生 ～ 新たな挑戦～」とさせていただきます。

第2590地区の最大の課題は会員の減少です。ここ10年以上会員の減少が続いていて、会員の増加に転じることが出来ません。これを改善する「新たな挑戦」を各クラブや地区で展開して、何とか「ロータリーの再生」の第一歩に結びつけたいと思います。それには、魅力あるクラブ創りに向けて、新たな挑戦をして頂きたいと思います。さらに、女性や若い世代の入会に向けて積極的に取り組んで行きましょう。そして、「イマジン・ロータリー」というRI会長のテーマの下に、未来に向けた奉仕プロジェクトを実施しましょう。地区としては、青少年奉仕活動の充実に向けて新たな挑戦をしていきます。

新型コロナウイルスの感染も収束に向かってきておりますので、公式訪問で会員の皆様に直接お目にかかることを楽しみにしております。この一年間のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。